

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科			
科目名称	総合的な学習の時間の指導法						授業形態	講義		
科目コード	421140	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	植村 秀人							ICT活 用	○	
授業概要	<p>授業の到達目標及びテーマ 総合的な学習の時間は、これからの社会において特に必要とされている諸能力を育てる科目である。具体的には、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。</p> <p>この科目は、従来の教科教育などにおける知識偏重ではなく、実践的な能力を育てることに主眼が置かれる特徴がある。これは、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え資質を育てる。そのために本科目では、実社会・実生活の課題を探究する学びを行っていくのである。これらを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を授業を通して身に付ける。</p> <p>このため、以下の項目を目標として設定する。</p> <p>(1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 (2) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。</p>									
関連する科目	<p>1. 教職課程受講資格審査において合格となった学生であること。 2. 2年前期までの教職課程開講科目（教職課程履修要項別表8）について履修し単位を修得していること。 3. 2年前期までの学科専門科目のうち必修科目については履修し単位修得していることが望ましい。 4. 今後の履修科目を考慮して教養科目・学科開講科目の履修状況を良好としておくことが望ましい。 5. 本科目履修後は、教職課程履修要項に基づいて履修をすること。</p>									
授業の方法と進め方	本授業は、講義形式で実施する。一部の回では、受講者同士の意見交換などを取り入れ、受講者が主体的に学ぶようにする。									
授業計画【第1回】	第1回：はじめに～将来を支える子供たちに育てるべき力とは何か？～ 総合的な学習・探求の時間が必要な背景について考える。									
授業計画【第2回】	第2回：「総合的な学習・探求の時間」の歴史と意義～社会課題と導入、教育的な意義の理解～ 総合的な学習・探求の時間の意義や原理を理解する。									
授業計画【第3回】	第3回：学習指導要領における「総合的な学習の時間」Ⅰ～基本的な事項および栄養教諭について～ 学習指導要領における基本的な事項、他教科などの教育活動との関連性、栄養教諭の役割について理解する。									
授業計画【第4回】	第4回：学習指導要領における「総合的な学習の時間」Ⅱ～学習指導要領の基本的な内容～ 学習指導要領における基本的な事項、小学校・中学校・高校の内容について理解する。									
授業計画【第5回】	第5回：探求的な学習のあり方～探求的な学習とな何か（テキスト：第1編第1章・第2章）～ 総合的な学習・探求の時間の基本となる探求的な学習の意義・方法について理解する。									
授業計画【第6回】	第6回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅰ～全体計画・年間指導計画について（テキスト：第2編第1章・第2章・第3章）～ 総合的な学習・探求の時間の全体計画・年間指導計画の意義や計画手法について理解する。									
授業計画【第7回】	第7回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅱ～評価について（テキスト：第2編第4章・第5章・第6章）～ 総合的な学習・探求の時間の単元計画の作成・評価・体制づくりについて理解する。									
授業計画【第8回】	第8回：まとめ～新しい時代の教育と「総合的な学習の時間」～ 総合的な学習の時間についてまとめる									
授業の到達目標	<p>総合的な学習の時間は、これからの社会において特に必要とされている諸濃色を育てる科目である。具体的には、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。</p> <p>この科目は、従来の教科教育などにおける知識偏重ではなく、実践的な能力を育てることに主眼が置かれる特徴がある。これは、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え資質を育てるも。そのために本科目では、実社会・実生活の課題を探究する学びを行っていくのである。これらを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を授業を通して身に付ける。このため、以下の項目を目標として設定する。</p> <p>(1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 (2) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。 (3) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。</p>									

学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学習 【予習】	予習を行うこと（各1時間） 授業事前課題を準備しておくこと（各1時間）
授業時間外の学習 【復習】	復習を行うこと（各1時間） レポートなどの作成について準備しておくこと（各1時間）
課題に対する フィードバック	感想文・課題などは返却する。電子媒体での提出物についてはフィードバックする。
評価方法・基準	授業感想 40点 課題（グループワークなどの提出物） 20点 授業への取り組み（発表など姿勢を評価する・グループワークへの参加を含む） 20点 レポート 20点 グループワークの課題については、欠席の場合でも提出すること。 上記評価方法なので、再試は行わないので注意すること。
テキスト	1. 小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）（最新版） 2. 中学校学習指導要領、中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）（最新版） 3. 高等学校学習指導要領、高等学校学習指導要領解説（総合的な探求の時間編）（最新版） 4. 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 中学校編（発行者 株式会社アイフィス 2022/6/23）
参考書	総合的な学習の時間（新しい教職教育講座 教職教育編）原清治・春日井敏之・篠原正典・森田真樹 平成29年改訂 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間 単行本 田村 学
備考	